

投信フォーラム2013 in 広島

投資信託の仕組みやリスクを伝える「投信フォーラム2013 in 広島」（投資信託協会、中国新聞社など主催）がこのほど、広島市中区の中国新聞ビルでありました。当日はファイナンシャルプランナーの講演や運用会社の専門家への質問コーナーを実施。約330人が知識を深めました。また野球解説者の達川光男さんの特別講演もあり、会場を沸かせました。

確かな資産運用で豊かな未来を

特別講演

こころのキャッチボール

野球解説者 **達川 光男**さん

たつかわ みつお 1955年広島市生まれ。広島商業高等学校を卒業後、78年に広島東洋カープに入団。正捕手としてベストナイン選出3回、92年に現役引退。99年から2年間、カープの監督を務めた。その後プロ野球解説者として活躍。来季から、中日ドラゴンズのバッテリーコーチを務める。



福はあがなるといふ。成功と失敗は、洋カープに入団した当初、表裏一体で、人生はめまぐるしく変化します。プロ野球という実力勝負の世界に身を置いた私は、この言葉のようにさまざまな体験を重ねて

努力で成長する人生

の危険とはいっても背中合わせでした。現役引退後に、野球解説の仕事を始めましたが、順調だったのは最初の数年間だけでした。この分野も競争が激しく、ある有名な捕手が引退し、解説者になられた。私の仕事は減りました。局面を打開するため、野球解説のスキルを高めようと、一生懸命勉強しました。ことわざを1400以上も覚え、解説に生かすよう工夫したのはこの頃です。人生にはさまざまなリスクがありますが、それを克服する努力を通して、人は成長するのではないのでしょうか。生活者として、私も老



企画・制作 中国新聞社広告局

セミナー

投資信託で「草食系」の資産づくり



ファイナンシャルプランナー / CFP 認定者 **馬養 雅子**さん

まがい・まさこ 東京生まれ。千葉大文学部卒業。出版社勤務、フリー編集者を経て、ファイナンシャルプランナーの資格を取得。個人のマネーのアドバイザーとして、金融商品や資産運用、家計管理に関する新聞・雑誌記事の執筆や講演、コンサルティングを行う。

リスク抑え家計守ろう

少子高齢化を背景に、社会保険料や消費税率が上がり、物価も上昇局面にある中、預貯金を中心とした資産形成では家計を守りにくくなっています。そこで、注目されているのが、金融商品に投資を行う資産運用です。その一方、資産運用や投資に関して多くの人が元本割れのリスクを不安材料に挙げます。一般的に、値動きが大きければ収益も期待できますが、リスクも高くなります。逆に値動きが小さければリスクも低いと言えます。資産運用ではリスクと上手につき合うことが大切です。家計を守る意味では株式などを購入し、ハイリターンを狙う「肉食系投資」ではなく、象を分散させ値動きを小さくする「資産分散」と、投資時期を複数回に分けることで値が高いつ時に買ってしまうリスクをなくす「時間分散」です。そしてこうした投資手法に最も適した金融商品が投資信託なのです。投資信託とは、投資家から集めたお金を一つの基金（ファンド）にまとめ、それを株や債券、

運用会社の専門家への質問コーナー



大和証券投資信託委託ファンド・プロモーション部長 **細田 社一**さん

会場では、投資信託の利用の仕方や仕組みについて専門家のアドバイスを受けました。

馬養 NISAに合う金融商品は、細田 NISAに限らず金融商品を選ぶポイントを紹介。1つ目はどんな時に値段が上がったり下がったりするのかわかりやすい商品を選ぶこと。2つ目は金利が高い国や資源エネルギーを輸出する国など、日本にはない魅力を持つ国に投資するのは効果があると思います。3つ目は今後の物価上昇から資産を守る運用を考えると、日本の物価上昇率の目標は2%です。3〜5%の収益が安定的に期待できる商品を選ぶのも1つの方法です。

3〜5%の収益目標に

に勘案して分配金を決めていきます。ファンドの収益は、基準価額の上げ下げによる損益に、受け取った分配金を合わせたトータルリターンになります。分配金の額だけでなくトータルリターンをご覧いただきたいと思えます。

あなたのライフプランに「投資信託」、考えてみませんか？

時間を有効活用してリスクを小さく。
【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。

ガイドブックプレゼント (各1冊セット) 無料

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会CG係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

